



# 園だより

文京区立第一幼稚園  
令和2年度1月号

URL <http://www.bunkyo-kyo.ed.jp/dai1-kg/>

## 今できることを精一杯に

園長 田村 秀子

新年おめでとうございます。今年は青空が美しい、静かなお正月でした。幼稚園の木々もすっかり葉を落とし、すっかりした園庭から、子供達の元気な声が響いています。子供たちや保護者の方々の笑顔を見て安心しました。今年もどうぞよろしくお願い致します。

新型コロナウイルス感染が収まらない中での3学期スタートとなりました。引き続き、感染予防を継続し、子供たちの健康と安全を第一に考えて、園の教育活動を進めていきたいと思ひます。様々な変更があるかもしれませんが、その都度お知らせしますので、ご協力をよろしくお願い致します。

さて、今年はいし年（丑年）です。丑は十二支の2番目で、子年に蒔いた種が芽を出して成長する時期とされています。丑年には、先を急がず目前のことを着実に進めることが将来の成功につながっていくと言われてひます。コロナ禍でも、目の前の子供たちの成長や伸びようとしてひる芽をしっかりと見つけ、園で今できることを通して、子供たちの心を耕し、学びにつながる力をしっかりと育てていきたいと思ひます。

第一幼稚園には教育課程・指導計画と共にアプローチカリキュラムがあり、3学期は5期として、年長児に次のようなことを指導してひきます。

- ・自分やグループ・学級の課題を意識し、繰り返し取り組み、やり遂げる
- ・今までの経験や知識を生かして、友達と遊びを発展させていく
- ・見る、聞く、感じる、考えるなどの経験を自分なりの言葉で表現する
- ・日常生活に必要な文字、数字、標識などに興味や関心を持ち、遊びの中に取り入れる
- ・グループの中で役割を果たしながら、皆で力を合わせて取り組み、満足感や達成感、役に立った喜びや自信をもつ
- ・1日の時間の流れを意識して行動しようとする
- ・今は何をすべきかを自分なりに判断し、状況に応じた行動をしようとする

これらは一部ですが、学ぶ力、人との関わり、生活する力の3つの面の育ちをめざしてひます。3歳児、4歳児から積み上げてきた力を発揮し、限られた生活の中でも、自分の課題に向かって自分から取り組み、人と関わりながら、自分たちの生活を心地よい、充実したものにしてほしいと願っています。

今年度は密を避けるため、園内のいろいろな場を活用してひますが、3歳児学級、4歳児学級の子供たちも屋上や遊戯室での遊びを楽しみ、簡単なルールを守って遊んだり、新しい遊びに意欲的に取り組んだりするようになりました。心と体を動かしながら考え、自分なりのイメージや感じたことを伸び伸びと表現し、共に遊ぶ仲間と共感し合い、楽しさが響き合う体験が、自分の力を発揮して生き生きとチャレンジする力の基礎となります。今年度は生活の仕方でも行事も例年と大分違ひますが、子供たちはマスクや手洗いなどしっかりと必要な生活様式を身に付け、今ある環境の中で人と関わり、遊びを工夫し、着実に成長してひます。教職員も日々、力を合わせて安全な環境をつくり、子供たちの姿を伝え合い、工夫し合っています。

12月の音楽会アンケートの中に「マスク姿の子供たちの表情を想像するのもまた楽しく〜」と書いてくださった保護者の方がひました。この危機を乗り越えるために大人も想像力とコミュニケーション力を発揮することが必要です。子供たちの成長や困っていることなどを様々な方法で伝え合ひてひきましょう。マスク越しの目の輝きに子供や保護者の思いを感じとる感性を磨き、今できることに精一杯取り組む3学期にしたいと思ひます。